

◎安来市小中学校適正配置基本計画の策定に向けた確認事項

安来市教育大綱の基本理念に基づき、

安来市が目指す学校教育と望ましい学習環境 の実践に向け取り組む。

<適正配置基本方針に基づく確認事項>

○視点 1 令和の時代を生きる子どもの「育ち」「学び」について

- ・児童、生徒の教育環境をより良くすることを中心にとらえた検討である。
- ・市内の学校規模（児童生徒数）を単純に平準化することではない。
- ・学校によっては、再編が困難となる可能性がある。

○視点 2 学校と地域との連携・協働について

- ・それぞれの校区における学校と地域の連携については、活動が継続するような新たな関わり方を検討する。

○視点 3 学校施設と整備・管理について

- ・現状の施設をすべて維持していくことは難しい。
- ・長寿命化計画に基づき、施設の現状を考慮し、検討する。
- ・適正配置の具体的な計画が決定しないうちは、大規模な改修は行えない。

○視点 4 安来市の実態に応じた規模・配置について

- ・基本計画に基づく、適正配置の最終目標をイメージした検討をする。
①校区調整、②学校の統合、③新しい校種



◎検討の進め方

基本方針にある基準に基づき、
具体的な枠組みを検討する。



学校ごとの考え方について整理する。
(別紙)

<学校ごとの考え方について整理>

○基本方針に基づき、学校ごとに方向性を整理、検討する。

<小学校>

区分	学校名	方向性
安来エリア	十神小	
	社日小	
	島田小	
	宇賀荘小	
	南小	
	能義小	
	飯梨小	
	荒島小	
	赤江小	
広瀬エリア	広瀬小	
	山佐小	
	布部小	
	比田小	
伯太エリア	安田小	
	母里小	
	井尻小	
	赤屋小	

<中学校>

区分	学校名	方向性
安来エリア	一中	
	二中	
	三中	
広瀬エリア	広瀬中	
伯太エリア	伯太中	

※ 今後の現状を考慮し、市内の全ての小中学校を対象とした適正配置、適正規模の検討は必須と考え、中長期的な将来を見据え、かつ実現可能性をより重視した計画の策定及び実行を検討する。